

## 子どもに「して欲しいこと」や「目標」は「年齢」や「発達の様子」に合わせて

ついつい、親は子どもに高い要求をしてしまいます。その子に合わせた「今できていること」「あと少しでできそうなこと」を目標にすると、ほめる機会が増えます。その積み重ねでできることがだんだん増えていきます。

2歳

2歳児は駄々をこねます



切りかえるには、大人の手助けが必要です



公園で遊ぼう

3歳

ひとりで片付けするのはまだ難しいです



大人と一緒に少しでもできたらほめましょう



4歳

自分でたくをするのはまだ難しいです



声をかけて着替えられたらいいですね



着替えようね

ちょっとしたことでもお気軽に  
ご相談ください

横浜市旭福祉保健センター 子ども・家庭支援相談

電話 045-954-6160

時間：月～金（祝日・年末年始除く）8:45～17:00



旭区マスコットキャラクター  
あさひくん

子育ての  
ヒント！  
③

ほめ上手・しかり上手で

しつけ上手



### しつけとは？

基本的な生活習慣や社会のルールやマナーなどを子どもに教え伝えることです。わかりやすく伝える工夫をして、できるようになるを見守りましょう。親が感情的になり、叩いたりどなったりしても、子どもに恐怖心を与えるだけで、親が伝えなかったことが伝わりません。それどころか「自分はダメな子」という気持ちが根付き、自信がなくなってしまいます。

では、どうやってほめたりしかりすると伝わるのでしょうか。



# ～ほめられること自体が 子どもにとってのごほうび～

できていることからほめましょう

スプーン  
上手に持てるように  
なったね



タイミングは「いいな」と思ったその時に



いただきますが  
言えたね

ありがとう

さらに「うれしい」「ありがとう」など  
あなたの気持ちも  
伝えられるといいですね。



すごいね



さすが

すばらしい

周りの子と比べず、伸びたところをほめましょう

できたね



いっぱい  
歩けたね



言葉かけや、スキンシップをしましょう

何をつかって  
いるの？



キュー



# ～こどもの行動に対して 正しく伝えることが「大切です」～

短く、わかりやすく、具体的に

いけないことを伝えるときは、真剣な表情で伝えましょう。  
それでもやめない時は親がブレーキ役になり、具体的に  
してほしい行動を伝えましょう。



あつけないよ!



手をつないで  
歩こうね

「いらない」「だいきらい」はNG

こどもの存在自体を否定する言葉は使いません。



今は頭がいたいので  
ごめんね



読んで

体調が悪い等で、イライラしてしまうことがあれば、  
「今は具合が悪いんだ」と、いつもの状態と違うことを、  
こどもに伝えましょう。

暴力はNG

こどもは暴力を受けると、おびえるだけで、  
親が伝えたいことは何も伝わりません。  
最近の研究では、暴力や暴言を受け続けると、  
こどもの脳や発達に様々な悪い影響が  
生じることがわかってきています。

